|  |  |
| --- | --- |
| **４**（月） | あなたがたのうちにをわせてくださるは |
|  | **ピリ2章12～18節**　はみこころのままに、あなたがたのうちにいてをてさせ、をわせてくださるです。(13) |
|  | はのみこころのままに、Remnantのうちにいてをてさせ、をわせてくださいます。Remnantはこのをりでわいましょう。Remnantがするつのことがあります。１つ、まことのです。まずがにしてえてくださったみことばをしましょう。たちはをかすやぐらをてて、がともにいてくださるをみ、しるべをてるりになるのです。２つ、まことのをしましょう。には237かのがてやされてサミットになることができるがです。そのでをけて、えをけることができるをめるのです。そして、のみことばをするをいて、がをかされるのをるのです。３つ、まことのをしましょう。マルコののとアンティオキア、パウロチームは、、をしました。はこのに、すべてのをすべてえられました。Remnantはももするがありません。Remnantにえられた、についてにえてもらえばいのです。Remnantは、まことの、まことの、まことのがするようにりましょう。そのとき、の、、Remnantがずえてえられるでしょう。 |
|  | 、まことの、まことの、まことのがしますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.11.10.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **５**（火） | をのに |
|  | **使1章8節**　しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。 |
|  | は、Remnantをしてをのにえるきをなさいます。ですから、Remnantはのをえましょう。をわうやぐらをえて、そのでをするのです。キリストがくださったことをりでつけて、のたしをければいのです。このシステムをあらかじめしたのは、どんなえをけたのでしょうか。１つ、ヨセフはすでにができていたのでになっても、にってもでした。モーセはで、ミディアンで、でしました。それゆえ、モーセにきがこったのです。２つ、あらかじめされたサムエルは、ミツパのえをけました。ダビデもゴリヤテにうにすでにされていました。３つ、ののをめてされたエリシャをしてドタンのがこりました。イザヤのメッセージをいてされたダニエルは、になっても４のをしました。４つ、はパウロをしてでRemnantをてられました。そのRemnantをしてがをされました。りのからがてくることが24のえです。Remnantは、まずりのをってのにりましょう。がめたとき、るに、のたしをわうりをしましょう! |
|  | 、がをのにえられるのをるために、をわうりのでしますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.11.16.レムナントとTCK伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **６**（水） | 12 |
|  | **使13章1～4節**　らがをし、していると、が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロをして、わたしがしたきにかせなさい」とわれた。(2) |
|  | Remnantはをするようになるので、とのルーティーンをしくしましょう。7･7･7りのでのをするのです。すると、のきにしたがって、にいられるようになります。このりをしていると、４つのえがえられます。１つ、をてみことばのでがすることをつけることができます。みことばでえがれば、のに\*りがてられます。すると、くのがることができるように、をつようになります。そして、どこでもることができるアンテナができます。２つ、のになります。にににまって、やしとタラントをつけます。そして、みことばとり、のれをわうのです。３つ、Remnantがわうもきながあります。たちは、すでにわれました。このいは、と\*のをわうことができるまりです。つのりをして、たちはがえてくださるえをわうことができます。４つ、Remnantはしくされれば、どこでもすることができます。まず、サミットになって、そこにのがむのです。Remnantはをまずちしましょう。、をってくてもりのをちましょう!\*り：たちにえられたなとりので、ののにおいてをましてり、のみこころをるをします。\*：がる、すなわちにえずにをめておられるのをします。 |
|  | 、サミットとしてをわうとのをつことができますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.11.16.核心訓練 |

|  |  |
| --- | --- |
| **７**（木） | の |
|  | **使1章1～8節**イエスはしみをけた、くのかなをもって、ごがきていることをたちにされた。にわたってらにれ、ののことをられた。(3) |
|  | のは、のをったにエジプトからされたです。また、もないのをのでんでいく、にえないのであるです。これをって、さんがるえがあります。１つ、です。モーセとイスラエルのはのをった、エジプトとサタンからされました。そして、40ののをむとき、つのりのをりました。２つ、です。ローマにになっていたとき、イエスが40、のをされました。そして、ただをけるようになるとしてくださいました。がこのをってオリーブからりてきたのですが、のに、のようなのようなのきがみました。これは、サタンのからされる、すばらしいです。３つ、のです。はパウロに237かと５をかすをえられました。このパウロをして、わざわいをめることがこりました。パウロはくごとにのきをけてのをにちきました。Remnantは、つのりのをにって、りでわいましょう。ずと、がするでしょう。 |
|  | 、のをって、りでわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.11.17.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **８**（金） | PK・MKアイデンティティ – いつも |
|  | **出2章1～10節**　そのがきくなったとき、はそのをファラオののもとにれてき、そのはのになった。はそのをモーセとづけた。は「のから、がこのをきしたから」とった。(10) |
|  | Remnantはがいつもともにおられるを24りでわいましょう。すると、Remnantがかされるようになります。そして、25ののとのがます。はRemnantと「いつも」ともにいるをくださいました。１つ、にてきたエポデです。エポデはがるですが、このには12のがまれていました。2412のためにったのです。Remnantは、ほかののための\*とりなしのりを24しましょう。だちといっしょにとりなしのりをめてみましょう。２つ、にてきたです。イエスはオリーブでのとののことを40もされました。Remnantは、をわうの\*になるのです。３つ、パウロはののことがくごとにするのをました。パウロはどこへってものきをけました。そして、ののことをにしました。はそのようなパウロをして、ローマをされました。Remnantはからがといつもともにおられることをしてりましょう。そのとき、すべてがかされます。\*：なをするのことをいます。 |
|  | 、がいつもともにおられることを、いつもりでわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.05.PK.MK修練会1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **９**（土） | PK、MKアイデンティティの - ともに |
|  | **出2章1～10節**　さて、レビののあるがレビのをにえた。(1) |
|  | イエスがたちをんで「わたしについてなさい」とわれました。たちをびせられ、らがみもとにたとき「らをごのそばにくため」んだとわれています。には「のわりまで、いつもともにいる」とわれました。このをRemnantはどのようにわうのでしょうか。1つ、Remnantがキリストをけれればのどもになります。キリストは、にうことができるのです。のどものとをしたRemnantは、のになりました。２つ、このをほかのRemnantとともにわいましょう。イエスは、イエスをしますとしたペテロに、をいなさいとわれました。ほかのRemnantにイエスがキリストでなければならないと、とり、まことのえであるのをえるのです。３つ、イエスはされたに、のをくださいました。Remnantは、の237かと５をましょう。つのとをいて、TCK、CCK、NCKをかしましょう。は、イエス・キリストのによってRemnantといつもともにいてくださいます。このをりでわいましょう。 |
|  | 、がとともにおられることをいつもわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.05.PK.MK修練会2講 |